

教科または領域	技術・家庭	
対象学年	中学校2年生	
授業場所	木工室	
単元	製作品の製作	
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用目的や条件に即した製品の機能と構造について理解する。</li> <li>・製品に用いる材料の特徴と利用方法を知る。</li> <li>・製品の構想の表示方法を知り、製作に必要な図をかけるようにする。</li> <li>・材料を適切に加工し、目的にあった製品を製作することができる。</li> </ul>	
単元の指導計画	<p>第一次 技術と私たちの生活の関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の進歩による生活の変化</li> </ul> <p>第二次 製作品の構想・設計</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の性質を調べるには</li> <li>・材料を考えるには</li> </ul> <p>第三次 製作品の製作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・けがきをしよう</li> <li>・部品を正確に加工しよう（本時）</li> <li>・製品を仕上げよう</li> </ul> <p>第四次 これからの生活と技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの技術の役割は</li> </ul>	
本時のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かんなの構造と使用方法を理解し、適切なかんなけずりができる。</li> <li>・板材を寸法通りに加工することができる。</li> <li>・安全に配慮して製作を進めることができる。</li> </ul>	
指導計画	導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回切断した板材を確認し、切断面を平らに加工するにはかんなを利用することを知る。</li> <li>・かんなの各部の名称、構造を知る。</li> </ul>
	展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験片でかんなけずりをおこない、けずる面や方向による問題点を見つける。</li> <li>・かんながけの方法についてコンテンツを利用して確認する。</li> <li>・こぐちけずり・こぼけずりの方法、ならい目けずりと逆目けずりなどをまとめる。</li> <li>・各自の材料でかんなけずりを行う。</li> </ul>
	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かんなけずりの方法についてまとめる。</li> <li>・片付け</li> </ul>
<p>その他：</p> <p>多くの生徒は今までに木材や金属を材料としたものづくりを経験したことがある。しかし、製作するために必要な工具を使ったことはあるが、正しい使い方を知らなかったり、上手に加工できない生徒が多い。特にかんなについては使ったことがない生徒が大半であった。工具の知識や技術を身につけている生徒は少ないが、生徒の多くは木材や金属を材料として何か作りたいと考えており、ものづくりに対する意欲は大きい。</p> <p>そこで、指導に当たってはこれらの実態をふまえ、「なぜ、そのように使うのか」その根拠をふまえた上で理解させ、製作品を作ることを通して、基礎的な技術の習得を図っていきたい。けれど、全体に指導する際には細かい点が伝わりにくかったり、進度に大きく差ができたときは個別に対応が難しくなってくる。そこでこのようなデジタルコンテンツを利用すると、問題点の発見の手助けや、理解不足の箇所を繰り返し学習することができるため非常に利用価値が高いものと考えられる。</p> <p>利用したコンテンツ <a href="http://gijyutu.kjp.jp/">http://gijyutu.kjp.jp/</a></p>		